

神石高原町におけるオーガニックビレッジとしての取り組み



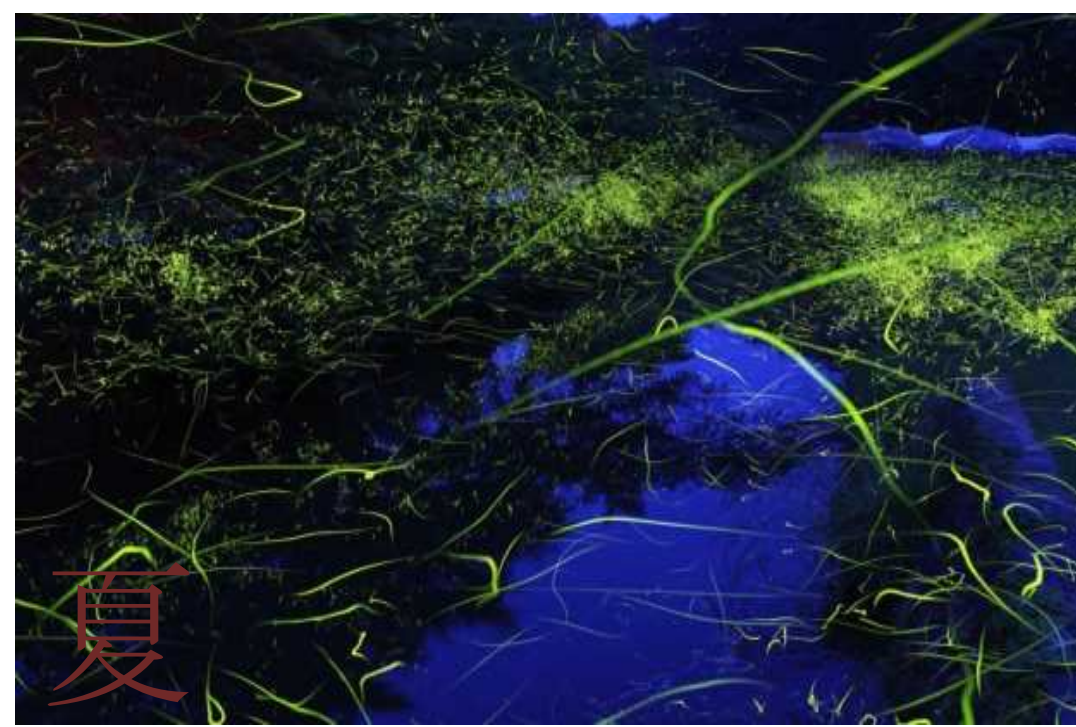
人と自然が輝く高原のまち

まちの紹介

神石高原町の概要

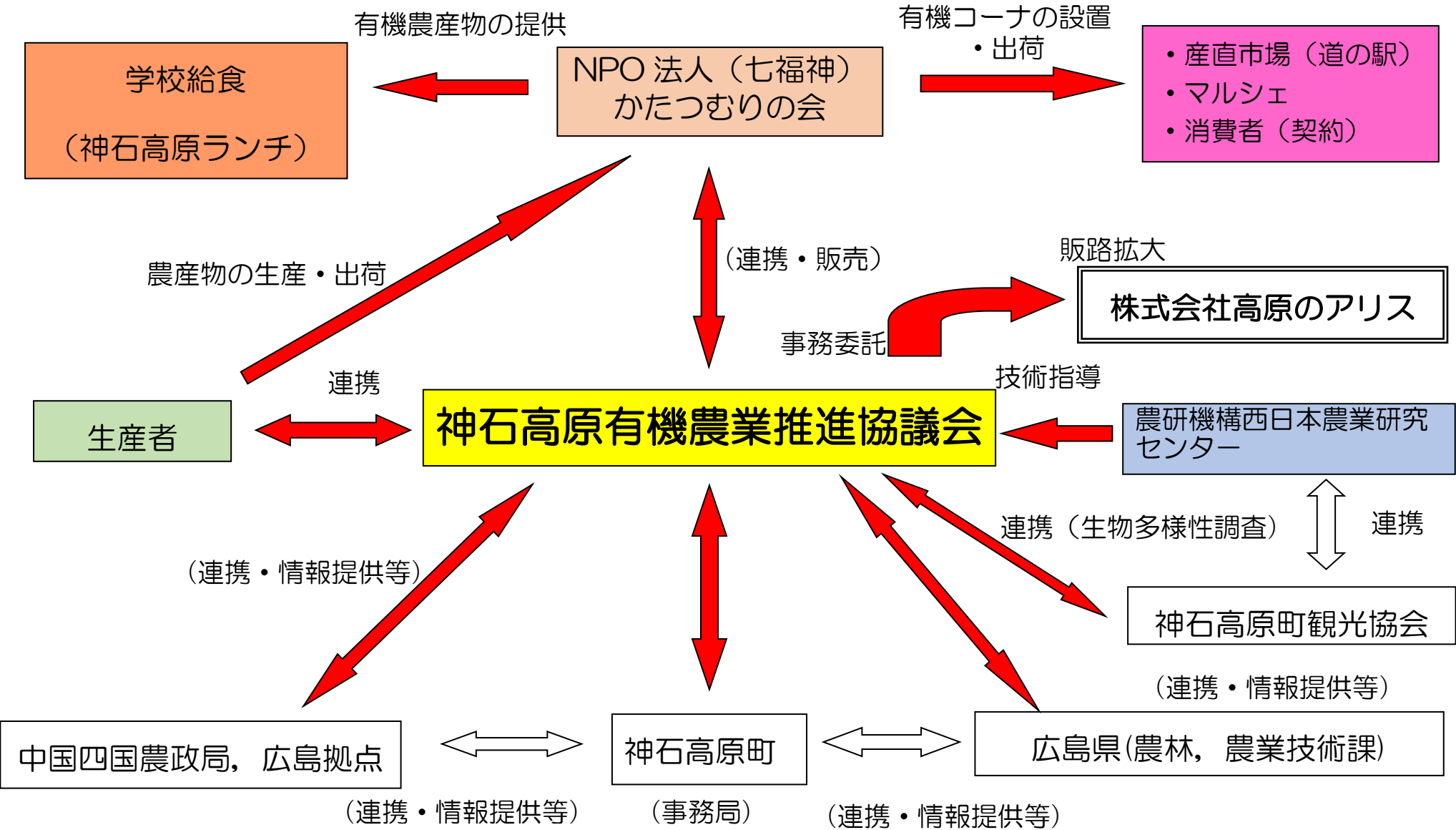
- 合 併 平成16年11月5日（郡内3町1村）
- 面 積 381.81 km²（広島県の約1/20を保有）
山林81%，耕作地4%，その他14%
- 標 高 400m～500m（最高峰835m）
春は新緑，夏は涼夏，秋は紅葉，冬は白銀と四季折々の風情を満喫できる。
- 人 口 7,798人（令和7年2月1日現在）
- 経済圏 福山市（福山東ICまで約30km）







神石高原町における有機農業の取組み



落葉堆肥の生成







竹炭の製造



落ち葉堆肥の散布



夏野菜の収穫



販路先の開拓



親子による生物多様性調査の実施



消費者動向調査

生物多様性に関する情報をシールに表示し、有機農産物に貼り販売することで消費動向を調査し、シールのない農産物と売り上げ効果を比較検証しています。



土壌検査

土壌の成分分析や作物の含有窒素を測定して作物の安全性を検証しています。



学校給食への提供

町内全小中学生へ有機農産物を使用した給食の実施、有機農産物のPR動画
教育委員会を通じて学校給食への有機農産物の活用に向け、積極的な働きかけを行います。



神石高原町における有機農業の現状と目標

ア 現状(令和5年度)

①有機農業に取り組んでいる面積	14ha
②有機農産物の販売量	25 t
③有機農業者数	8人

イ 目標（令和9年度）

①有機農業面積拡大	20.2ha
②有機農産物販売量の増加	32t
③有機農業者の増加	11人

生産者と消費者を繋ぐ

かたつむりの会

発足：平成 16 年

生産者：4名

福山市、尾道市に会員数46名

ブロックごとに週1回配達

お花見会（4月）、収穫感謝祭（11月）
に開催。



オーガニック&メディカル七福神

発足：平成27年

生産者：7名

福山市、岡山市に会員数26名

毎週2回 卸先に配達。広島県内、岡山県内の取引先 8ヶ所

道の駅さんわ 182 ステーション 【有機農産物コーナー】





神石高原町は標高 500～700m の高原に位置し、昼夜の寒暖差により良質な米や野菜が栽培されています。加えて「赤と黒のプロジェクト」を農業施策の基本としてトマト、ぶどう、神石牛の生産拡大を図っており、神石牛とその堆肥による耕畜連携や有機農業への活用に取り組んでいます。

こうした中、平成 22 年に「神石高原有機農業推進協議会」を設立し、土壌診断、有機農法の研究を重ね、これまでに自然に優しい農産物を栽培し、多くの消費者に提供してきました。

国内外では SDGs の取り組みや環境保全への関心が高まっており、持続可能な農業振興と環境負荷の軽減を目指す取り組みが求められています。

みどりの食料システム戦略を契機に、有機農業者の増加や後継者育成をすすめる、環境に配慮した農産物の生産拡大に取り組めます。併せて学校給食へ有機農産物を提供し、神石高原町の豊かな自然、食と農を、次代を担う子どもたちに引き継ぎます。

これまで守られてきた美しい自然環境を次の世代に繋げていくため、今後も環境に配慮した有機農業を推進していくことを決意し、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。



道の駅さんわ 182 ステーション【有機農産物コーナー】

令和 5 年 5 月 30 日

神石高原町長

入江 嘉則